

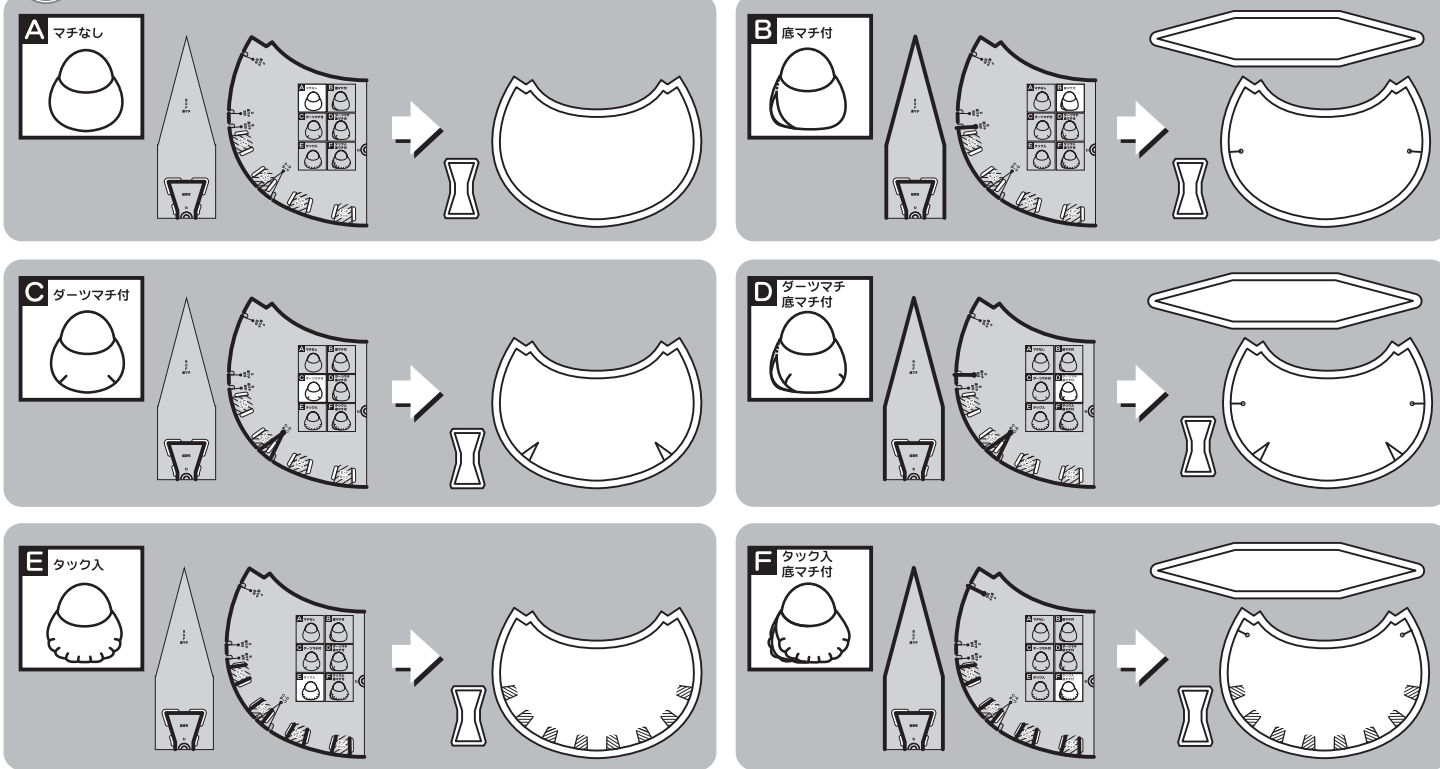
STEP 1

作るバッグの形を決め、下準備をします
テンプレートの右下のイラストA~Fの中から
選んでください。

STEP 2

選んだバッグのイラストのラインの色に従って、
テンプレートの使用箇所を選び、印つけをします

STEP 1



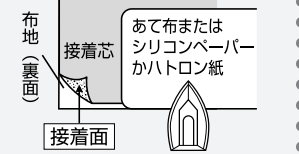
布の用尺(必要な布の大きさ)と材料

袋布		持ち手	
A	B	C	D
●表袋(側面)、裏袋(側面)、接着芯 30×42cm 各2枚ずつ	●エフロンファスナー 40cm	●持ち手 (表布) 50×7cm (裏布) 41×7cm	●Dカン 25mmまたは30mm 2個
●底マチ		●結束部	
B	D	F	
底マチ(表・裏各1枚) 54×12cm 底芯=厚手接着芯、ポリ芯等 (表布用) 50×10cm	結束布がタブを選びます ※裏面「⑤結束布、またはタブをつける」参照	結束布 表布・裏布 各1枚 13×8cm 各2枚 接着芯(表布用) 13×8cm 2枚	タブ タブ(表布のみ) 10×7cm 2枚 接着芯 10×7cm 2枚

下準備

布地に接着芯を貼る

＜接着芯の貼り方＞
中低温(130~150°)で上から押さえる
ようにアイロンをあてる。
(ドライ・約10秒)
★接着芯に霧吹きをすると、熱が伝わりやすく、接着しやすくなります。



最初に接着芯を貼る布地

- 表袋(側面)
- 持ち手
- 結束布/タブ



STEP 2

袋の型を描く

●印のつけ方 ※印は全て布の裏面に付けます。

●溝の印つけ
ラインの印がついている側の溝をなぞります。

●丸穴の印つけ
中心に印を付けます。

縫いしろの描き方
ぬいしろライナー クロバー「水性チャコペン」「布用シャープペンシル」などのペン先を入れ、テンプレートに沿って転がすようにパターンを描きます。
テンプレートの線に付属の「ぬいしろライナー」をセットします。
1cmの縫いしろが描けます。

ぬいしろライナー
側面の溝にテンプレートをはさみます。

バッグテンプレート

＜側面の型の描き方＞ 表布[前][後]・裏布[前][後] 計4枚に印をつける

1. 布の裏面に出来上がり線を描く。ダーツ及びタックをつける場合は、その印をつける。底マチをつける場合は、底マチとの合い印をつける。

2. 「ぬいしろライナー」を使い、縫いしろ線を描く。
* 左記「印のつけ方 縫いしろの描き方」参照。

3. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.2.と同様に印をつける。

4. 縫いしろ線に沿って裁断する。

ダーツの印の描き方
ダーツの溝と穴の中心に印をつける。
溝の中心に線を描き足してつなく。

タックの印の描き方
タックの溝に印をつける。
線を出来上がり線まで描き足し、斜線をテンプレートのとおり描き込む。

底マチとの合い印の描き方
溝の中心に印を付けます。

ポリ芯の縫い付け方
1. ポリ芯の端から1cm以上内側の部分に両面接着テープを貼り、表布の裏面に貼り付ける。
2. 貼り合わせたポリ芯と生地をポリ芯の端から約5mm内側のラインで縫い合わせる。

＜底マチの型の描き方＞

表布 底芯に出来上がり線を描き裁断し、表布の裏面に貼り付けてから、表布に縫いしろ線を描きます。

1. 底芯の表面に、出来上がり線を描く。

2. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.と同様に出来上がり線を描く。

3. 出来上がり線に沿って、底芯を裁断する。

4. 裁断した底芯を、表布の裏に貼り付ける。
※底芯が接着芯の場合はアイロン接着、ポリ芯の場合はミシンで5mm内側を縫い付ける。

5. テンプレートを底芯に合わせて置き「ぬいしろライナー」を使い、表布の裏面に縫いしろ線を描く。
* 左記「印のつけ方 縫いしろの描き方」参照。

6. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、5.と同様に印をつける。

7. 縫いしろ線に沿って裁断する。

底マチの先端部分の縫いしろは、曲線のラインで裁断する

裏布 裏布の裏面に出来上がり線と縫いしろ線を描きます。

1. 裏布の裏面に、出来上がり線を描く。

2. ぬいしろライナーを使い、縫いしろ線を描く。

3. (わ)を中心にテンプレートを裏返し、1.2.と同様に印をつける。

4. 縫いしろ線に沿って裁断する。

＜結束布の型の描き方＞

底マチ用テンプレートの「結束布」部分を使います。

1. 溝の内側で出来上がり線、溝の外側で縫いしろ線を描く。

2. (わ)の印を中心に裏返し、3.線を描き足してつなく。表布と裏布を中表下半分を同様印をつける。

3. 線を描き足してつなく。表布と裏布を中表下半分を同様印をつける。

4. 縫いしろ線に合わせ待針でとめ、縫いしろ線で裁つ。

布の端がほつれてこない布の場合
合皮等の布端がほつれてこない布の場合は、縫いしろをつけずに1枚で裁つ。

STEP 3 バッグを仕立てます

ダーツ・タックをつけない場合

1. ダーツまたはタックを作る

C (ダーツマチ付), **D** (ダーツマチ底マチ付) はダーツを縫います。
E (タック入), **F** (タック入底マチ付) はタックを縫います。

ダーツの縫い方
 (うら) → (うら) → 糸を結ぶ (うら)
 ♥の印を合わせるように山折りにする。布端からダーツ先へミシンをかけ、糸を少し残しておく。

タックの縫い方
 (うら) → (うら) → 出来上がり線 (うら)
 斜線がタック分量。斜線の“高い方から低い方”(a→b, a'→b')へひだをたたみ待針で仮止めする。布端から0.8cmくらいのところをタックを押さえるために縫っておく。

2. ファスナーをつける

表布 [前] [後] とファスナーを縫い合わせる。

縫い合わせ方 1 ミシン目が表に出ない縫い方です。
 ★市販のバイピングテープをはさむ場合はこの方法で縫い合わせます。

表布 (おもて) とファスナー (おもて) を中表に合わせて縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする。

縫い合わせ方 2 ミシン目が表に出る縫い方です。

表布 (おもて) とファスナー (おもて) を表側に合わせ、出来上がり線にミシン目をつける。

3. 袋を縫う (底マチをつけない)

A (表袋), **C** (裏袋), **E** (裏袋)

1. 表布 [前] [後] を中表に合わせ、脇と底を縫い合わせる。
 2. 裏布 [前] [後] を中表に合わせ、返し口を残し、脇を縫い合わせる。

3. 袋を縫う (底マチをつける)

B (表袋), **D** (裏袋), **F** (裏袋)

1. 表布 (側面) [前] と底マチの中心と合い印を合わせ、出来上がり線で縫い合わせる。(1)
 2. 表布 (側面) [後] と底マチを1.と同様に縫い合わせる。(2) 底マチと側面を縫い合わせた後、表布 (側面) [前] [後] の脇を縫い合わせる。(3)
 3. 裏袋は底マチに15cmの返し口を残し、表袋と同様の手順で縫い合わせる。

4. 表袋と裏袋を縫い合わせる

※裏袋は、表袋とファスナーを縫い合わせた縫い目よりも外側で、袋口を縫い合わせる。

裏袋 (うら) と表袋 (うら) を縫い合わせる。

裏袋の袋口の縫いしろを開き、図のように合わせて袋口とファスナーを縫い合わせる。

5. 結束布、またはタブをつける

結束布をつける場合 表から、脇を覆いまとめる方法です。④の工程の後、返し口から表に返し、結束布で脇をはさみ縫い合わせます。

結束布をつくる * 印つけは、説明書表面「結束布の型の描き方」参照

1. 返し口を残して、出来上り線。 2. 返し口から表に返す。 3. 返し口を内側に折り込み、まつ。 4. Dカンをはさんだものを2セット用意する。

3. 脇を仮止めする。 4. 脇を結束布で覆い、ステッチをかけて縫い合わせる。

タブをつける場合

表に返した時に、両脇からタブが出る方法です。④の工程の後、返し口から表に返す前に両脇にタブをはさみ、脇を縫い合わせます。

タブをつくる

★25mmのDカンを使用するとき 単位: cm
 8, 4, 1, 2, 1

★30mmのDカンを使用するとき
 8, 4.5, 1, 2.5, 1

1. 両端を1cm折り、アイロンをあてる。 2. 端から0.2cmのところからステッチをかける。 3. Dカンをはさんだものを2セット用意する。下端0.5cmを仮止めする。

脇の縫い合わせ方

1. 表袋の脇縫いしろを開き、タブと表袋を仮止める。
 2. 図のように、表袋と裏袋の出来上がり線の角を山折りにして合わせる。
 3. 裏袋の脇縫いしろを開き、全て(裏袋・ファスナー・タブ・表袋)を一度に縫う。

6. 持ち手を作る

持ち手の型 (上) 表布, (下) 裏布

50cm, 41cm, 1cm, 2.5 or 3cm, 1cm

持ち手の幅 (2.5 or 3cm)

表布 1cm, 裏布 1cm

41cm, 4.5cm, 3cm, 4.5cm

7. 持ち手をつける

持ち手の両端をDカンに通し縫い止める。

3cm, 1.5cm

クロバーの「持ち手接着芯白<25mm/30mm>」を使うと縫いしろが簡単に折れ、きれいに作れます。

持ち手接着芯
 布の裏面にアイロンで接着する。(表・裏各1枚)

縫いしろがきれいに折れます。(おもて)

★詳しくは、商品パッケージをご覧ください。